



学生が考える！

Vol.4

都留市の企業×SDGsの未来



持続可能な未来を築く資源循環型社会へ



問合先 企画課 企画担当

SDGsに取り組んでいる市内企業を都留文科大学学生が実際に訪問・取材し、皆さんに紹介！第4弾はリユース建物の物流拠点であり、環境に配慮した緑化事業にも取り組んでいる大和リース(株)山梨都留デポに学生が迫ります。



1. 環境に配慮した建設リユースと緑化事業

建設ソリューションを提供する大和リースは、建物リユース後に回収した建材を補修してリユースし、廃棄物削減と資源活用に貢献しています。都留文科大学1号館改修工事での仮設校舎や能登半島地震の際の応急仮設住宅も山梨都留デポで管理されていたものが使われています。

また、大阪・関西万博では大屋根リングの屋上スカイウォークの植栽整備を担うなど、環境緑化事業にも取り組んでいます。



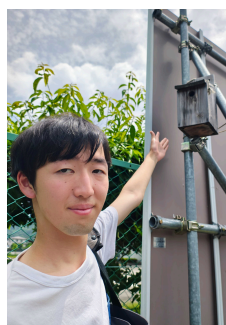
▲ ユニットハウス組み立ての実演。短時間で組み立てが可能。

3. DXによる効率化と充実した職場環境整備

電子タグとタブレットを活用し、部材管理や業務進捗の見える化により業務を効率化。あわせて職場改善委員会を毎月開催。働きやすい職場環境を目指し、現在有給休暇取得日数は平均17.6日／年です。エコ検定や3R・気候変動検定の社員取得率は100%と、SDGsに対する意識の高さを感じました。

2. 地域と共に生物多様性を保全

「山梨都留デポ生物多様性取り組みガイドライン」を策定し、会社の敷地内に在来植物の庭園や鳥の巣箱を作り、生物多様性の大切さを周知する看板を設置しています。さらに、外来種駆除や地域の清掃活動に参加し、社員と地域が協力して生物多様性の保全に取り組んでいます。



◀ 社員が作成した巣箱と富士五湖地域に住む野鳥の看板

4. 生産活動における環境負荷の削減

大容量の雨水貯水槽を導入し、コンクリート基礎の洗浄や花壇への水やりを使用することで、30%(※)の水使用量を削減。また、フォークリフトをエンジン車からバッテリー車へ変更し、電力も太陽光発電から購入することでCO2排出量も86%(※)削減しています。(※2020年対比)

学生からの一言

先進的な建築設計による創エネ・省エネに配慮した建物の開発等、企業の大きなSDGsへの取り組みもあれば、社員一人ひとりの努力が土台になっているSDGsもあるということを実感しました。取材中の「SDGsは難しそうに見えるけれど、実は身近なことの積み重ね。」という言葉が印象的でした。ユニットハウス設置の実演までしていただきありがとうございました。

取材者：都留文科大学学生 平松 敬汰郎、小林 麗葉

大和リース(株)山梨都留デポのSDGsのポイント



8. 働きがいも経済成長も

社員の声を反映した働きやすい職場づくり



12. つくる責任 つかう責任

建物リユースで廃棄物削減と資源の有効活用



15. 陸の豊かさも守ろう

生物多様性への寄与と環境負荷低減をめざす

都留市ではSDGs宣言事業所を募集しています。

「都留市SDGs宣言事業について」市HP▶

取材協力：地域活性化起業人
宮川清希(株)ニコン日総プライム



取材先：大和リース(株)山梨都留デポ
(都留市井倉字沢戸775-4)

デポ長 田辺 正規 他

大和リース(株)の
HPはこちらから▶

